

お知らせ

商工会より

「永年勤続優良従業員表彰」

於・文化会館四階大ホール
事業主負担金
3千円より1万円まで
推せん締切り

9月20日

なお詳細については商工会事務局までお問い合わせください。

表札の掲出にご協力ください。
お宅の郵便物を雨や風から守り早く確実にお届けするため郵便受箱の掲出にご協力ください。

二、郵便貯金の利子がまた大巾に

上がりました。

8月13日から郵便貯金の利子が再値上げになりました。

すでに預りした定期貯金で預け替えされた方が有利な場合がありますから郵便局へお尋ねください。

三、簡易保険の掛金が安くなりま

した。

郵便局の簡易保険は9月1日契約のものから保険料が、平均5%引下げられました。平均寿命の長い女性は特に9%の引下げになります。

また、そのほか満期死亡の際に支払う剩余金も有利になりました。

四、都留上町郵便局が9月25日よ

り、新築移転し、名称も変ります。

この間百余日もかかり城中では進退にまよい評議をかさねたが、この間百余日もかかり城中では進退にまよい評議をかさねたが、

何もできずいわゆる小田原評定の言葉にのこされたほどであった。

その結果、関東はもとより奥羽地方まで平定して、全国統一を完成することができた。

この征伐に鳥居元忠も出兵して

北条氏を知る武将として、神奈川

の津久井にむかい根子屋（ねこや

古く紡織物の产地として知られて

いる）の城を攻めてこれを落城させたという。元忠はこのことをう

正十八年九月までであった。

八朔の江戸御打入、徳川家康は

豊臣氏から関八州（相模、

安房、上総、下総、常陸、

下野）をあたえられ、江戸城には

いつたのが八月一日であったとい

う。これが「八朔の江戸御打入り

」であった。



近世（11）

豊臣秀吉は九州征伐のあと全国統一のしあげとして関東で最大の勢力をもつて、北条氏をうつた

ために、諸大名を動員して進んだ軍事と圧倒的な物量を投入して、五

十六〇（天正一八）年三月、海陸か

らの両面作戦で小田原城をせめた

が天嶮をたのんで龍城する北条方

をかこみ七月にこれをほろぼした。

この間百余日もかかり城中では

進退にまよい評議をかさねたが、

何もできずいわゆる小田原評定の

言葉にのこされたほどであった。

その結果、関東はもとより奥羽地

方まで平定して、全国統一を完成

することができた。

この征伐に鳥居元忠も出兵して

北条氏を知る武将として、神奈川

の津久井にむかい根子屋（ねこや

古く紡織物の产地として知られて

いる）の城を攻めてこれを落城させたという。元忠はこのことをう

正十八年九月までであった。

八朔の江戸御打入、徳川家康は

豊臣氏から関八州（相模、

安房、上総、下総、常陸、

下野）をあたえられ、江戸城には

いつたのが八月一日であったとい

う。これが「八朔の江戸御打入り

」であった。

江戸時代を通じて八朔（八月一

日）の行事は、徳川幕府の重要な祝

日とされるようになつた。都留市

四日市場の生出神社の祭礼も八朔

祭といわれ、ここでの祭行事も家康

の江戸入りを記念して行われてき

たともいわれ、徳川幕府の権力に

おもねるむきがあつたのであろう

が、その後の郡内領主となつた秋

元氏も郷社正八幡神社からこの社

に改宗したといわれるほどで、幕

の行事につながるものがあつた

が、よう思われる。

この家康の江戸入りを出迎えた

江戸の農民たちの姿は、名主、長百

姓などであり、男女とともに身に布子

（ぬのこ）、木綿の綿入れというが

麻布によるものか」というものを

着て、縄の帶をしていた、髪はわ

らでたばねていたという（日本開

化小史）

また、「おあん物語によると、三〇

〇石どりの武家の家庭でも食事は

粗末であつて、朝夕の二食で昼飯

をたべることなど夢にもなく夜に

なつて夜食ということもなかつた。

家屋は堀立小屋のような小屋組

で、「日光そぎ」「甲州そぎ」であつ

た。これは木をうすくそぎ木板と

しこけらのようにした、長さ三〇

センチ、巾一〇センチメートル位

いのもので屋根をふいたという、

台所はかやぶきで雨戸すらまれで

あつた。

（9）